

兵庫県保険医協会 第35回地域医療を考える懇談会 ご案内

北神の地域医療の現状・課題

～病院統合計画を受けて～

兵庫県保険医協会
地域医療部長 綿谷 茂樹
神戸支部長 田中 孝明

兵庫県保険医協会では、各地の医療活動の経験交流と地域医療・保健・福祉のあり方やネットワークづくりを目的に、毎年「地域医療を考える懇談会」を開催しています。

今回は神戸市北区で開催し、病院の統合計画が持ち上がっている北区北部の地域医療の現状と課題、基幹病院に求められる役割・機能について、病院・診療所関係者で意見交換し、議論を深めたいと思います。お忙しい時期とは存じますが、医師・歯科医師・医療機関スタッフをはじめ、介護・保健・福祉関係者の方のご参加をお待ちしております。

日 時 **2019年3月23日（土）16時～18時30分**

会 場 **フルーツフラワーパーク内ホテルフルーツフラワー 2階「摩耶の間」**
（神戸市北区大沢町上大沢 2150、TEL078-954-1000、無料駐車場あり
 タクシーで、神戸電鉄「岡場」駅から約10分、JR三田駅から約15分）

話題提供

- ① **奥谷 貴弘** 先生（済生会兵庫県病院 小児科部長）
 「神戸市北部・三田圏域の小児医療の現状と課題」
- ② **高田 幸浩** 先生（北区・たかた内科クリニック院長）
 「開業医から見た地域医療の課題と病診連携（仮）」
- ③ **貞弘 信行** 先生（北区・さだひろこどもクリニック院長）
 「北神小児医療のこれまでとこれから」
- ④ **森岡 芳雄** 先生（兵庫県保険医協会副理事長、東神戸病院小児科）
 「進む病院統合～地域に求められる病院とは」

参加費 無 料

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 電話078-393-1807 小西、前川 まで

参加者氏名	職種	参加者氏名	職種

第35回地域医療を考える懇談会 参加申込 FAX：078-393-1820

地区（ ）医療機関名・施設名（ ）

電話番号（ ）FAX番号（ ）

※お申し込みいただいた方には後日、詳細な地図、交通アクセスをご案内します

兵庫県保険医協会

322号 2019年2月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

ラジオ関西「医療知ろう！」神戸支部の先生が多数出演

医療に対する疑問に答える



1月24日の放送で糖尿病の移植医療について解説した岩永先生（中央）

10月から3月まで毎週木曜日に放送中のラジオ関西番組「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に神戸支部の先生が多数出演している。12・1月の放送では、小谷圭（灘区）・加茂統良（中央区）両評議員、武富雅則支部幹事（中央区）、岩永康裕先生（中央区）が出演している。

武富先生は12月6日、「リウマチ」をテーマに出演。関節リウマチは自己免疫疾患の一種であり、病原体から身を守るための免疫が、逆に自分の身体を病原体と認識し攻撃し始める厄介な病気であると解説。完治させる治療法はないが、症状を和らげるための方法や薬があり、関節のはれや痛みなど違和感を感じたら、早めに

医療機関を受診することをすすめた。

小谷先生は12月13日、「高齢者の糖尿病」をテーマに出演。高齢者と若者では糖尿病対策で異なる点があり、食事では鶏肉や卵など栄養価の高い食べ物を食べた方が良いことがわかってきていると説明。また高齢になると体力が低下（2面へつづく）

（1面からのつづき）

してくるので、適度な運動を行い筋力をつけることが大切であるとした。

加茂先生は12月27日、「にきびの話」をテーマとして、最新のにきび治療について解説。以前は軟膏を塗るといった治療が一般的であったが、最近ではにきびの原因となる菌の種類に応じた薬が出てきており、治療方法も大きく前進していることを話した。

岩永先生は1月24日に出演し「糖尿病に対する移植医療」をテーマに語った。1型糖尿病の根本的な解決となる移植手術を2つ紹介。「膵臓移植」と「膵島（すいとう）移植」のメリットとデメリットを解説し、症状などに合わせた手術方法を選ぶことが重要とした。

※収録の様子は、番組ブログや協会ホームページ<http://www.hhk.jp/topics/2018/1030-090000.php>から動画でご覧いただけます。

阪神・淡路大震災メモリアルウォーク

住民の力でにぎわい取り戻そう



地元商店の方から震災当時の様子を聞く参加者

阪神・淡路大震災から24年となる1月17日、神戸支部も参加する震災復興長田の会の主催で「メモリアルのつどい ひと・まち・くらし長田ウォーク」が、長田区内で行われ、80人超が参加した。

参加者は、震災時には避難所であった旧二葉小学校を出発し、新長田駅南の再開発地域や商店街を歩き、住民や商店主から話を聞いた。再開発でできた巨大なショッピングモールは、空き店舗が目立つ。

火災があった地域の近くにある丸五市場は、震災当日は定休日だったため、火災を逃れた。市場内で鶏肉店を営む店主は「もし定休日じゃなかったら、皆が火を使っている時間で、市場

は残らなかつたらう」と振り返り、今は昔ながらの市場の雰囲気を生かしながら、「アジア系の店を集めて、毎月イベントを開き、たくさんの人を集めている」と、上からの巨大再開発ではなく、地元商店主たちのアイディアでにぎやかな街を作ろうとしていることを語った。

ウォーク終了後には、被災地との交流として、昨年7月の西日本豪雨で大きな被害を受けた岡山県倉敷市真備町の須増伸子・岡山県議員が報告。いまだに1万人近い人々が仮設住宅等で避難していること、洪水被害は堤防工事や河川整備の不備により起こっており、国や県に再開防止のため対策を求めていることなどを語った。

神戸支部／医療安全管理研修会

外来での感染対策のポイントおさえる



事例などを踏まえての院内感染対策のポイントを解説する土屋貴昭先生(右)と講義を聴く参加者たち(左)

神戸支部は2月16日、医療安全管理研修会を協会会議室で開催。「外来における院内感染対策～あなたの対応は万全ですか?～」をテーマに、独立行政法人国立病院機構神戸医療センター呼吸器内科部長の土屋貴昭先生が講演し、49人が参加した。

病院の感染対策室長を務める土屋先生は、①標準予防策、②手指衛生、③個人防護具、④経路別の予防策、⑤針刺し対策、⑥ワクチン、⑦

感染予防と環境整備、清掃の7点に分けて、院内感染対策のポイントを解説。病院での実例や使用している手袋・マスクなどをスライドで紹介しながら、分かりやすく語った。

感染対策の注意として、「常に病原体に曝露する可能性を意識する」「突発的な事故が発生した場合は必ず指導者の適切な指示を受ける」などを意識することが重要であると強調した。

(次号に感想文を掲載予定)

映面前売り券販売のご案内

兵庫県保育運動連絡会から斡旋があり、映画「あの日のオルガン」の前売り券を1200円でご購入いただけます。戸田恵梨香主演、太平洋戦争末期に子どものいのちを守った保母さんたちのお話です。ぜひご覧ください。神戸国際松竹、MOVIXあまがさきなどで2019年2月22日（金）からロードショーです。

【前売りチケット】1200円

あの日のオルガン



前売りチケットご希望の方は、☎078-393-1809 保険医協会事務局・前川まで